

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		社会福祉法人能代ふくし会 能代地域生活支援センター（放課後等デイサービス）		公表日 令和8年3月2日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・活動によっては狭いと感じることもありますが、机やイスを寄せて広く使用できるよう工夫しながら活動しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・基準よりも多く職員を配置しており、活動やその時の子ども達の様子に合わせて対応しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・毎朝、清掃・消毒を実施しております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・更衣室をクールダウンの際に使用し気持ちの切り替えが出来るよう対応しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・施設全体で生産性向上のための業務改善として、①職場環境の整備②手順書の作成③情報共有の工夫について取り組んでおります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・毎朝のミーティングや集団療育後に振り返りの時間を設け、全職員で情報共有しております。また、次の支援へ繋げられるよう努めております。 ・重複している部分の一本化や書類の様式の変更等業務改善に繋げております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	外部評価は行っておりませんが、業務改善に向けて話し合い、実践し業務改善に繋げております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・事業所内、法人内研修等や保護者学習会に参加し、スキルアップに繋げております。 ・コンサルテーションを受け職員間で学びを深めることができました。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・HPにて公表しております。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・多角的な視点での計画の立案に努めております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・一人ひとりに合った支援目標が設定されており、検討会議にて共有しております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・就学を機にフォーマルアセスメントの機会が少ないが、実施した際には確認し支援に繋げております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		・週毎に役割分担して立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		・静と動の活動を組み合わせて設定しております。また、プログラムの中にも5領域の視点を組み込んでおります。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		・個別の活動は行っておりませんが、子どもの状況に合わせて、集団活動に無理なく参加できるよう対応しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		・ミーティング時に支援内容や役割分担について共有しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		・週のリーダーを中心に、前日の出来事や子どもの様子等、共有しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		・サービス提供記録や日誌に記録し、支援に繋がっております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		・遊びや体験活動を通して、生活習慣やコミュニケーションスキルを育めるよう支援しております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		自己選択ができるようできるだけサポートをしております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		・日々の送迎時や情報交換会時に情報共有しております。また、必要に応じてケース会議を開催して連携しております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	・児童発達支援から放課後等デイサービスへ移行する子が多く、スムーズに移行できるよう環境設定を行っております。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		・相談支援専門員をととして情報提供を行っております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	・可能な限り研修に参加しておりますが、連携する機会が少ないと感じております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	・地域の子ども達と交流する機会はありませんが、法人内の放課後等デイサービスの子ども達との交流を行っております。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		・法人の代表が協議会へ参加しております。 ・来年度、児童部会ができる予定です。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		・送迎時にその日の様子や支援内容を丁寧に伝え、必要に応じて相談援助しております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		・困りごとへの助言や相談援助を行っております。また、関係機関で開催するセミナー等の周知をしております。	
保護者への	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		・契約時に説明し、変更があった際には都度、説明と同意を得ています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		・その子に合わせて環境調整と情報提供を行っております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		・主に児童発達支援管理責任者が支援内容を説明し同意を得ております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・家族から求められた時だけでなく、その時の状態を見て相談援助を行っております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	5	3	・父母の会は設けていませんが、法人内の放課後等デイサービスと合同で保護者学習会や親子レクを開催しております。	

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			・玄関ホールに活動の様子を掲示したり、子ども達の作品を飾っております。年1回、施設の会報も発行しております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			・個人情報保護規程を定めるとともに、契約時に個人情報同意書を交わしていただいております。また、取扱いに十分留意しております。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			・ことばの受容とノンバーバルコミュニケーションを育てています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8			・能代地域生活支援センターまつりを開催し、地域の方を招待しております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			・活動室に掲示しております。また、契約時に説明しております。 ・避難訓練を年2回実施しております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			・定期的に訓練・研修を行っております。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			・救急時の対応等の確認（書面にて）を行っております。 ・おくすり情報等の変更があった際には都度更新しております。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		・現在、アレルギー対応の方はおりませんが、契約時に保護者より情報を提供していただいております。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			・ヒヤリハット報告会を実施し、他部署とも共有しております
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			・毎月セルフチェックシートを活用し日々の支援の振り返りを行っております。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			